

令和5年度 自己評価表

名古屋動物専門学校は、高等教育機関として在学生在がより良い教育を受けることができるよう学校運営、教育活動について常に改善を図り、教育の質の向上と保証を図るために自己点検・自己評価を行いました。以下に令和5年度の結果を報告いたします。

1. 学校法人立志舎の沿革

- 1979年 東京IT会計専門学校が学校法人として新たにスタート。コンピュータ教育を導入。
- 1981年 全国高等学校簿記選手権大会を学園が主催。第4回大会から文部省の後援を頂き、簿記の甲子園として広く親しまれる。
- 1983年 公認会計士試験、税理士試験に専門課程在學生から全国最年少合格が誕生。
日本の専門学校で初めて公務員コースを設置。1年目に早くも151名の現役合格者を輩出。
- 1988年 情報管理学科を設置。情報処理分野の国家・検定試験においても次々と快挙を成し遂げる。
- 1989年 大阪IT会計専門学校、大阪法律専門学校開校。
- 1990年 日本スクールオブビジネスが開校。マルチメディア、スポーツ、トラベル、医療などの総合ビジネス学園として、新たな一步を踏み出す。
- 1993年 公認会計士試験11年連続専門課程現役合格達成。
- 1994年 東京法律専門学校より、司法試験史上初の専門学校生現役合格者が誕生。
- 1995年 専門課程在學生から経済産業省ソフトウェア開発技術者試験79名、基本情報技術者試験462名現役合格。情報処理分野においても名門の地位を確立。
- 1996年 経済産業省において、25歳未満の人が受験できる最上級レベルの経済産業省テクニカルエンジニア(ネットワーク)試験に専門課程在學生から2名の現役合格者を輩出。
- 1997年 東京IT会計専門学校杉並校、東京法律専門学校杉並校、東京IT会計専門学校名古屋校、東京法律専門学校名古屋校開校。
- 1998年 日本スクールオブビジネス21、東京IT会計専門学校仙台校、東京法律専門学校仙台校開校。
公認会計士試験、税理士試験において専門課程在學生から全国最年少合格を輩出。
- 1999年 東京では11年ぶりの私立の新設高校として、立志舎高等学校を開校。
専門課程在學生から税理士試験全国最年少合格者輩出。
- 2001年 簿記大会にIT部門を新設。全国高等学校IT・簿記選手権大会となる。
- 2002年 専門課程在學生から税理士試験全国最年少合格。さらに、IT関連の国家試験に抜群の実績をあげる。
- 2003年 専門課程在學生から司法試験現役合格。東京IT会計法律専門学校横浜校、東京IT会計法律専門学校大宮校開校。専門課程在學生から税理士試験全国最年少合格者輩出。
- 2004年 専門課程在學生から税理士試験全国最年少合格(3年連続)含め6名現役合格。公認会計士試験、経済産業省情報セキュリティアドミニストレータ試験、テクニカルエンジニア(ネットワーク・

データベース)試験、ソフトウェア開発、基本情報技術者試験等 I T 関連の国家試験に抜群の実績をあげる。

2005年 京都 I T 会計法律専門学校、大阪 I T 会計専門学校天王寺校、大阪法律専門学校天王寺校開校。

2006年 日本動物専門学校、専門学校日本動物 21 開校。全国高等学校 IT・簿記選手権大会に F E 部門を新設。

専門課程在学学生から公認会計士試験全国最年少合格者輩出。

2007年 東京 I T 会計法律専門学校千葉校、大阪動物専門学校開校。

2008年 専門課程在学学生から公認会計士試験全国最年少合格者輩出。経済産業省高度情報処理技術者試験に 34 名現役合格等の合格実績をあげる。大阪動物専門学校天王寺校開校。

2009年 名古屋動物専門学校開校。経済産業省高度情報処理技術者試験に 36 名現役合格等の合格実績をあげる。

2010年 国税専門官試験 26 年連続現役合格達成。

2014年 立志舎グループの各校が文部科学大臣認定「職業実践専門課程」設置校になる。

2020年 立志舎グループの各校が高等教育の修学支援新制度の対象校として認定される。

2021年 校名を東京 I T 会計専門学校から東京 I T プログラミング&会計専門学校へ変更した。

2022年 専門学校日本動物 21、日本動物専門学校、名古屋動物専門学校、大阪動物専門学校、大阪動物専門学校天王寺校が、愛玩動物看護師法（令和元年法律第 50 号）第 31 条第 2 号に基づく愛玩動物看護師養成所の指定を各都府県知事から受ける。

2023年 公認会計士試験現役合格 31 名、税理士試験現役合格 4 名

法科大学院（ロースクール）に司法試験制度改革以来 17 年連続現役合格

経済産業省高度情報技術者試験（データベース・ネットワーク・情報処理安全確保支援士・プロジェクトマネージャ）現役合格 41 名

応用情報技術者試験現役合格 83 名

基本情報技術者試験現役合格 415 名

総合旅行業務取扱管理者試験現役合格 23 名

国内旅行業務取扱管理者試験現役合格 103 名（入学後半年合格 89 名）

国家公務員一般職（大卒程度）・地方公務員上級・中級等現役合格 1,006 名、

公務員初級等現役合格 4,884 名／警察官・消防官・自衛官現役合格 3,132 名

（2023 年 3 月卒業生 高校卒業生対象専門課程／一次筆記合格のべ）

民間企業就職率 99.47%（2023 年 3 月卒業生 高校卒業生対象専門課程）

2. 学校の教育目標および特色

本学は、教育基本法および学校教育法に基づき、動物に関する専門知識、職業遂行に必要な知識および人間と動物が共生できる確かな技術を授け、併せて豊かな人間性を養い、社会に貢献しうる有能な人材を育成することを目的とする。

本学の特色は、独自の教育システムである「ゼミ学習」を導入していること。また、動物およびビジネスに関する資格を取得し、実習を行うことにより幅広い知識や技能を身に付け、動物業界のみならず異業種企業や公務員として就職していることである。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

(1). 教育理念・目標

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 理念、目的、育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
ロ. 学校における職業教育の特色は何か(特色は設けているか?)	④ 3 2 1
ハ. 理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生、保護者等に周知されているか	④ 3 2 1
二. 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

開学以来「ゼミ学習」という本学独自の教育システムを導入していることにより、明るく楽しい学園生活と、資格取得実績、検定試験合格実績、民間企業就職実績が両立している。動物系企業をはじめとする民間企業への就職実績と、明るく楽しい学園生活が両立している。

また、「学生から信頼され支持される学校づくり」を学園の基本目標として、教職員一丸となって学校運営に取り組んでいる。

(2). 学校運営

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
ロ. 運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④ 3 2 1
ハ. 人事、給与に関する制度は整備されているか	4 ③ 2 1
二. 教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④ 3 2 1

ホ. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
へ. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

本学独自の教育システムである「ゼミ学習」を通じて、資格取得、就職および明るく楽しいキャンパスライフの3本柱を追求することにより、「学生から信頼され支持される学校づくり」が実現していると考えている。

学務システム（入試システムおよび学籍管理システム）は仮想プライベートネットワーク（VPN 網）を全拠点で結び、セキュリティを強化して運用している。また、全教職員にパソコンを貸与し、業務改善に取り組んでいる。

(3). 教育活動

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
イ. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
ロ. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
ハ. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
ニ. キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
ホ. 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
へ. 授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
ト. 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
チ. 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
リ. 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
ヌ. 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

教員の専門性や教授力等を常にレベルアップするため、年間を通じての自己啓発研修や企業等との連携により最新の動向を取り入れる研修を行っている。

③ 特記事項

本学では、目標とする資格や技術を明確に定め、その習得がより確実になるようなカリキュラム編成をしている。また、学内就職セミナー等で企業から回収したアンケート回答を基にした「企業が求める人材像」を学生に明示しており、学生が専門的知識や技術を持った上で、動物関連業界を中心に多岐にわたる業界や職種のニーズに対応できる教育を実践している。

カリキュラムは、各コースで目標とする資格の取得および企業の求める人材ニーズに対応するために、カリキュラム作成委員会で必要な科目を体系的に編成し、教育課程編成委員会で得た意見を参考に定期的な見直しを行っている。その際、各科目のシラバスを作成し、カリキュラム編成において目標達成のための科目の適正な配置を行っている。また、学生による授業評価アンケートを実施している。

本学の授業は、開学以来ゼミ学習方式を採り入れており、知識の習得をより確実にするばかりでなく、積極性、協調性、表現力、コミュニケーション力などの人間性をも涵養している。

「愛玩動物看護師法」の成立に伴い、動物看護師学科3年制を新設し、愛玩動物看護師養成所として指定認可を受けた。また、令和6年度よりドッグトレーナーコースとペットショップ&セラピーコースを統合し、ペットのスペシャリスト育成を目的としたドッグトレーニング&ケアコースを新設。さらに令和4年度から、全日本グルーミング検定の実技試験内容を変更した。

令和元年度よりGPAを算定するため、システムを改修し導入した。GPAの算定についてはホームページ上でも公開している。

今年度も対面授業、分散登校、そしてオンライン授業により、全ての授業を実施することができた。オンライン授業については、Microsoft365 および zoom を利用した。

(4). 学修成果

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
イ. 就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
ロ. 資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
ハ. 退学率の低減が図られているか	4	③	2	1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

新入生就職セミナーをはじめ、進路決定のための就職・公務員ガイダンス、学内就職セミナー、インターンシップを行っている。

学内就職セミナー等には、多数の企業等に参加していただいている。

コース毎に目標とする資格を明確にしており、過去の経験に基づき綿密なカリキュラムを組み立て、ゼミ学習で授業を進めている。その結果が成果としてあらわれている。また、学園内各校と定期的に合格率向上を図るための会議を開いている。

退学者を出さないように、常に担任が学生に声をかけ、その状況を日常コミュニケーションチェック表に記録している。学生が学校に来ることが楽しくなるように、担任が心掛けている。また、ゼミ学習を通し友人を作れるように気を配っている。

担任以外にも相談できるように、学生相談室を設置している。匿名でも、電話でも相談できるようにしている。無断欠席の学生には担任から電話連絡し、長期欠席の学生が出ないようにしている。

(5). 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
イ. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
ロ. 学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
ハ. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
ニ. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1
ホ. 課外活動に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
ヘ. 学生の生活環境への支援は行われているか	④ 3 2 1
ト. 保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
チ. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 ③ 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

就職相談室を設け、就職担当者及びクラス担任が学生の就職相談、履歴書の書き方、就職先の選択、会社訪問、面接対策などの指導を行っている。また、企業の人事担当者を招き学内就職セミナーを実施している。また、学生の希望に沿ってインターンシップを実施している。これにより、ペットサロン、動物病院、ペットショップ、犬の訓練所をはじめ動物業界の就職先開拓につながっている。民間就職支援ポータルサイトを立ち上げ、求人票のリアルタイムの閲覧、エントリーの一元化、就職部と学生の連絡手段の新設により学生が就職活動をスムーズに行えるようにした。学生相談室および就職相談室は、匿名での電話相談にも応じている。

本学の特別奨学生試験や各種特待生制度は、貸与ではなく給付である。

健康面に対しては、インフルエンザなどの感染症の罹患状況を把握し、感染拡大防止のための措置(学級閉鎖など)を行っている。

令和2年度に本館にWi-Fi環境を整備し、オンライン授業については、Microsoft365およびzoomを利用した。

令和2年4月よりスタートした高等教育の修学支援新制度対象校として愛知県に確認されている。

(6). 教育環境

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④ 3 2 1
ロ. 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1
ハ. 防災に対する体制は整備されているか	4 ③ 2 1

① 課題

災害時防災マニュアルを更に整備する必要がある。

② 今後の改善方策

災害時対応マニュアルを法令に従って見直していく必要がある。

③ 特記事項

施設・設備は学生に教育上支障がないよう整備されている。さらに、愛玩動物看護師法の政省令に示される養成所の指定基準を満たすための施設・設備の整備した。

アジリティ大会、ドッグショー見学、動物関連施設等の学外実習、インターンシップ、高齢者施設でのドッグセラピー活動、ペット研修旅行を実施するなどしている。令和5年度は、東山動物園の見学やドッグイベントに希望者が参加をした。また、高齢者施設でのドッグセラピー活動を実施した。

学校保健安全計画を作成し、防災指導担当者を校務分掌一覧に規定し、定期的に防災訓練を実施し、教職員、学生に防災に対する意識の喚起を行っている。

令和2年度に本館にWi-Fi環境を整備した。

(7). 学生の受け入れ募集

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
ロ. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
ハ. 学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

入学案内書やガイドブック作成にあたっては、その内容や表現において真実性・明瞭性、法令遵守が必要であることを認識し、広報を中心に作成している。そこに具体的な数字を示すことや合格者等を実名で公表することにより、入学志望者や保護者の方の判断に役立つと思われる。民間就職実績・公務員試験合格実績も本人の了承を得て企業名・公務員試験名・氏名(イニシャル)・出身校名を掲載している。

また毎年単年度の資料を作成しており、今現在の学校の実態を志望者や保護者に正確に伝えている。

本学のホームページはスマートフォンへの対応も行っているため、スムーズに情報が入手できる。また、ブログ、LINE、X（旧 Twitter）、Facebook、Instagram、YouTube を利用した情報提供を行っている。令和 2 年度より、オンラインによるオープンキャンパスや進路個別相談会を行っている。オープンキャンパスは YouTube でも行っている。

入学選考のうちAO入学に関しては、本学のアドミッションポリシーを基準として面談を行っている。本学の理解度、今後の学校生活へのやる気を中心に可否の判定を行っている。

入学者に対するアンケートを実施している。その結果、卒業生の活躍が本学への入学にあたり参考になったという意見が多かった。

本学は法人単位での財務情報の公開体制を採っており、学納金が適正かつ公正に使用されていることを明らかにしている。

(8). 財務

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

① 課題

特になし。

② 今後の改善方策

特になし。

③ 特記事項

少子化傾向が続く中、財政基盤を中長期的に安定させていく必要がある。

(9). 法令等の遵守

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
イ. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
ロ. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	③	2	1
ハ. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	④	3	2	1
ニ. 自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

定期的に情報セキュリティ研修を実施する必要がある。

④ 特記事項

「学生から信頼され支持される学校づくり」を基本方針に、教職員には人権研修の受講を義務付けるとともに、その他必要に応じて研修等への派遣や資料を配布するなど、法令・設置基準を遵守するための施策として、法令遵守規定を作成し実施している。また、学生に対しても法令遵守、道徳指導を適宜実施している。

個人情報保護に関しては、個人情報保護規程、プライバシーポリシーを設定している。学校の保有する情報を委託業者に取り扱わせる際も覚書等で保護の徹底を行っている。また、教職員には規程の遵守はもとよりインターネット使用時の暗号化なども徹底し、学生には担任を通じて適宜該当する情報を伝えている。また、学生向けに「SNS 利用についてのガイドライン」を配布し、利用上の注意を周知している。

学生の個人情報を利用する場合には、教職員より学生に趣旨を説明し、文書により承諾を得た上で、個人情報を取り扱っている。

自己点検・自己評価については学校関係者評価委員会で報告し評価をいただき、その結果をホームページ上に公開している。

(10). 社会貢献・地域貢献

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
イ. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 ③ 2 1
ロ. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 ③ 2 1
ハ. 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等)の受託等を積極的に実施しているか	4 ③ 2 1

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

地域との連携、交流、諸外国の学校などとの連携、社会問題についての啓蒙などが社会貢献となり、また学校の発展につながるという観点から、高齢者施設でのドッグセラピー活動や校舎近隣の歩道等の清掃、家庭飼育犬をモデル犬として登録し無料でグルーミングを実施している。

名古屋で開催される AJC キャットショー、JKC 中部ブロックトリマー競技会の会場として本学校舎を提供している。

学生のボランティア活動を奨励、支援し、その活動状況を把握している。また、省エネ、エコ活動の取り組みなども行っている。

生涯学習については単に事業としての検討だけでなく、地域社会への貢献としてとらえ、学生の参加、協力も考慮していく。